



日野市立カワセミハウスは旧環境情報センターの機能と地区センター機能を融合して平成29年4月1日に誕生しました。このカワセミハウス通信は日野市の環境に関する情報に加え、カワセミハウスで行われる活動や開催予定の行事・イベントなどの情報を発信していきます。

2017年度(2017年4月～2018年3月)のカワセミハウス利用状況の報告です

2017年4月に開館した日野市立カワセミハウスは連日たくさんの来館者で賑わっています。開館から今年3月までの1年を振り返って利用状況とその成果をまとめました。

1年間の開館日数は308日、出入りに設置したセンサーカウンター（センサー前を2度通過すると1カウント）による入出カウンター数は10万を超えました。子どもたちが多く訪れる夏休みをはさんだ7、8、9月が1万を超えています。3室ある集会室の利用者数は1年間で延べ10,615人、集会室の使用率は年間平均で43%、自治会や子ども会を中心とした地域団体、環境団体、各種サークル、大学、ボランティアグループなど様々な団体が利用しました。

また、カワセミハウスが開館したことによって以下のような成果が生まれました。

●カワセミハウス協議会の設立…カワセミハウス運営の基盤となる市民組織。地域団体や環境団体、サークル、大学など多彩な43団体と1個人で構成、協議会の年間事業計画などを策定。

●黒川かわせみサロン…地域のご婦人有志と実践女子大学生ボランティアのコラボ事業。高齢の方を中心に昨年9月から月1回、毎回60人ほどが参加し合唱や健康体操など、お茶やお菓子を楽しみながらの三世交代の場が誕生。

●フリースペースを活用した「第三の居場所」の提供…カワセミハウス周辺の恵まれた環境を背景に乳幼児連れの親子から、小学生、高齢者まで毎日多くの方々が来館し遊びや学習、ランチ、おしゃべりなど居心地のよい空間として活用。また子どもたちの安全な居場所として保護者からも信頼を得ています。

●実践女子大学との多様な連携…黒川かわせみサロンへのボランティア参加、地域の絆を強めカワセミハウスに集う人々の親睦の機会となったイベント「オクトーバーフェスト」の提案と運営、カワセミハウスを拠点とした「まちづくり工房」の提案など、様々な事業での連携。

●アートディレクション事業の推進…日野市出身の版画家蟹江杏氏と中学生有志9人による創作絵本「ぼくのまちには もりがある」創刊。子どもたちの情動的な成長に大きなインパクトを与えました。

●地域団体と環境市民団体のコラボ…黒川子ども会とどんぐりクラブ（環境学習支援クラブ）が黒川地区の身近な自然をテーマに環境学習でコラボ。

●環境分科会の立上げ…カワセミハウス協議会の分科会として環境基本計画の遂行と環境関連イベントなどの事業を展開。

●カワセミハウスサポーターの誕生…小学生高学年の子どもたちを中心に掃除係や図書係、イベント係などとしてカワセミハウスの活動をサポート。



黒川清流公園の自然を守り、その魅力を伝える「黒川マイスター」を育成する講座が誕生しました

日野市の宝である黒川清流公園の魅力を伝え、その自然環境の保全を担っていただく市民リーダーを育成する新しい講座「黒川マイスター」講座が5月からスタートしました。第1期生は19名です。男性12名、女性7名、年齢は30代前半から80代まで、また八王子市の方や日野出身で文京区在住の方など幅広い層の方々が受講します。

開講式は5月25日（金）10：00～14：30、第1期生全員が出席しカワセミハウス集会室で開催されました。開講式のあと、第1回目の講座が行われました。緑と清流課から「日野市の公園緑地」というテーマで日野市の緑の現状や雑木林の定義とその管理・保全について、また黒川清流公園の位置づけや歴史、豊富な湧水の状況などが話されました。カワセミハウススタッフからは黒川清流公園の植物について解説がありました。午後は事務局からこの講座の主旨や目的、今後の展望などについての説明、講座のオリエンテーションが行われました。

講座の内容は右の表の通りです。5月から来年3月まで全11回開催されます。講師陣は市内の環境団体代表、環境活動をしているNPOスタッフや個人、大学教授、緑と清流課職員、カワセミハウススタッフなど多士済々です。8割以上の講座に出席した受講生には日野市独自の「黒川マイスター」の認定書が授与されます。

- | | |
|-----|--------------------------------------|
| 5月 | 開講式、日野市の公園緑地、黒川の植物、オリエンテーション 他 |
| 6月 | 黒川清流公園の湧水はどこから来るのか、黒川清流公園の全体観察、歴史、地形 |
| 7月 | 雑木林の保全と管理・活用方法、安全管理・安全対策 ※ |
| 8月 | 道具の正しい使い方と実際の作業（鎌、鋸、鉋、剪定バサミなど）※ |
| 9月 | 黒川清流公園の水生昆虫、黒川清流公園で虫の気持ちを考えよう |
| 10月 | トコロジストになるう！ |
| 11月 | 目的に沿った公園の手入れ作業 |
| 12月 | 黒川清流公園徒然雑記、黒川清流公園で「とりの鳥しらべ」 |
| 1月 | 生物多様性って、なに？ |
| 2月 | 黒川清流公園の自然を考える |
| 3月 | 修了式 認定書授与、黒川マイスターの今後の展開について |

※印 雑木林ボランティア講座と共通科目

平成30年度「第10期 市民環境大学」「第14期 雑木林ボランティア講座」が開講しました

☆第10期市民環境大学が開講しました

第10期市民環境大学が5月10日（木）に開講しました。受講生は27名です。講座は5月から7月の前期と、10月から12月の後期に分けて合計20回開かれます。市民環境大学は地球規模から身の回りの環境まで幅広く考え正しく知ること、問題解決のためにみんなでできることを実践することを目的としています。

講座内容は下記のように「地球温暖化」や「水」などをテーマにいろいろな事例や最近の話題などを取り上げ、身の回りから大学で行なっているような専門的なものまで環境についてわかりやすく説明していきます。また、春夏秋冬の4回（夏と冬は公開講座）、黒川清流公園で水や緑、生きものなどについて学ぶ講座もあります。

9期までの講座修了者は累計で140名です。修了者のうち有志の皆さんがOB会を結成し、市内での空間放射線量の測定や黒川清流公園で湧水量の測定など行い活発に活動しています。

前期(5月～7月)	後期(10月～12月)
1. 地球環境問題とは	1. 水の文化、水の特異な性質
2. 炭素・窒素・リンの循環	2. 黒川清流公園周辺の気温測定(秋)
3. 黒川清流公園周辺の気温測定(春)	3. 黒川清流公園の秋の散策
4. 黒川清流公園の湧水	4. 地球規模および都市の水の循環
5. 地球温暖化と温室効果ガス	5. 仮想水(バーチャルウォーター)
6. 地球温暖化の生態系への影響	6. 富栄養化と排水の総量規制
7. ヒートアイランド現象	7. 地下水の汚染(有機塩素化合物、硝酸塩)
8. ヒートアイランド現象と身近な対策	8. 越境大気汚染と酸性雨
9. 黒川清流公園の初夏(植物)*公開講座	9. 黒川清流公園の初冬(野鳥)*公開講座
10. 身近な環境を考える(前期まとめ、意見交換)	10. 身近な環境から地球規模の環境を考える(まとめ)

☆第14期日野市雑木林ボランティア講座が開講しました

第14期日野市雑木林ボランティア講座が5月19日（土）に開講しました。受講生は22名です。5月から来年3月まで下記のように「雑木林とは」から「道具の使い方」まで全11回の講座で雑木林の管理ノウハウを習得します。また、里山づくりや雑木林の植物に関する公開講座、市内の緑地や市外の緑地ボランティアの視察なども行います。

現在、放置されたままになっている雑木林は、わずか50年前まで私たちの暮らしにとってかけがえのない大切な場所でした。日野市雑木林ボランティア講座は、昔のような明るく健全な雑木林を維持管理し次世代に引き継ぐことを目的に、市民と行政との協働で平成17年にスタートしました。

13期までの講座修了者は累計で296名になっています。この講座を通して専門的な知識や技術を習得した雑木林ボランティアを育成し、新しい緑の保護団体を設立したり、既存の緑の団体で活躍してもらおうと頑張っています。

1. 開講式 日野市の自然環境、日野の植物、講座概要、オリエンテーション
2. 緑地巡り(日野市内の緑地保全活動を行なっている緑地)
3. 雑木林の保全と管理・活用方法、安全管理、安全対策
4. 道具の正しい使い方と実際の作業(鎌、鋸、鉋、剪定バサミなど)
- 5.刈払機の仕組み、操作方法と実習
6. 里山づくり、雑木林の植物観察*公開講座
7. 市外の緑地ボランティア視察と作業実習(八王子滝山里山保全地域)
8. 落葉かき、落葉ため、腐葉土作り、冬芽と葉痕の観察
9. チェーンソーの仕組み、操作方法と丸太切り実習、受け口・追い口の実習
10. チェーンソーを使って立木の伐採作業と粗朶作り
11. 椎茸菌の駒うち、修了式

カワセミハウス協議会環境分科会がスタートしました

カワセミハウス協議会環境分科会は、カワセミハウスの旧環境情報センターとしての機能を引き継ぎ、カワセミハウスを拠点とした環境活動を活性化すること、さらには多面的な機能を持つカワセミハウスを活用することによるさらなる発展を期待し、カワセミハウス協議会の有志により立ち上がったものです。構成メンバーは、環境団体だけでなく、子育てや地域活動にかかわる団体、大学などで、現在19団体が登録メンバーとなっています。

2018年度より本格的な活動を開始しましたので、これまでの活動と今後の予定についてご報告します。

<これまでの活動>

5月6日（日）… 分科会有志による「作って食べるイベント」の試行として、野草を摘むところから調理・試食までを実際に体験しました。

5月29日（火）… 2018年度の第1回会議を開催し、会長1名・副会長2名の選出を行いました。また、今年度の事業計画について検討し、10月の環境団体パネル展の開催などを決定しました。

6月2日（土）… 市民参加のまちづくり勉強会第1回「環境基本計画をめぐって」を開催。講師に長野浩子氏（法政大学エコデザイン研究センター）を招き、市民との協働による環境基本計画の策定から現在までの変遷や課題などについてお話いただきました。市民と市の職員あわせて28名が参加し、それぞれの立場から様々な意見を聞くことができました。

<今後、予定している活動>

7月18日（水）市民参加のまちづくり勉強会第2回（講師：長野浩子氏）

8月26日（日）浅川ネイチャースタディ（水生昆虫観察と毛ばり釣り体験）

9月9日（日）市民参加のまちづくり勉強会第3回（講師：富永一夫氏）

10月8日（月・祝）～14日（日）環境活動団体パネル展

10月27日（土）みんなの環境セミナー（講師：小倉紀雄氏）



まちづくり勉強会第1回の様子

平成30年度「エコキング夏」の調査結果がまとまりました

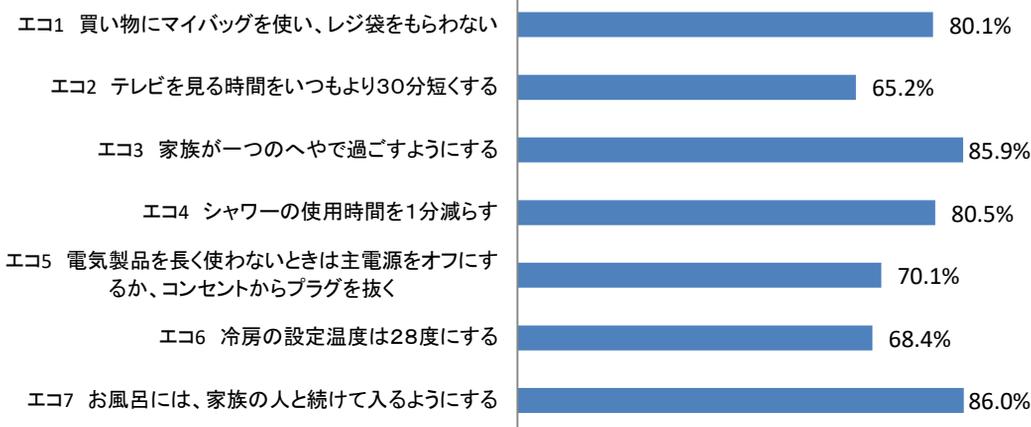
日野市環境基本計画推進会議CO2グループ主催による平成30年度「エコキング夏」の調査結果がまとまりました。「エコキング」とは、市内の全小学校にご協力いただき、小学生のいる家庭の夏と冬の“ある1日”のエコ活動を通して、CO2がどれくらい削減されるかを調査するものです。

今回の調査は今年6月23日（土）の1日間のエコ活動について調べました。市内の小学生の73%にあたる6,781人が参加、下記の7つのエコ活動の家庭での実施状況を聞きました。調査の集計結果をみると、全小学校計でエコ活動の実施率が最も高かったのは、エコ7「お風呂には、家族の人と続けて入るようにする」で86.0%、ほぼ同率でエコ3「家族が一つのへやで過ごすようにする」85.9%が続きます。最も低かったのはエコ2「テレビを見る時間をいつもより30分短くする」で65.2%でした。

7つのエコ活動の実施者数にそれぞれの活動で削減されるCO2の量をかけて算出した6月23日の1日間で削減されたCO2の総量の推計は全小学校計で2,470kg、テニスコート約9.9面分※の森林が1年間に吸収するCO2の量に相当します。もし6月23日のエコ活動を1年間365日続けるとすると、テニスコート約3,607面分の森林が1年間に吸収するCO2が削減されることとなります。日々の暮らしの中での小さなエコ活動の積み重ねがCO2の削減に大きな効果があり、ひいては地球温暖化の防止にもつながります。

※テニスコート1面（約500㎡）当たりの森林が1年間に吸収するCO2の量250kgで換算

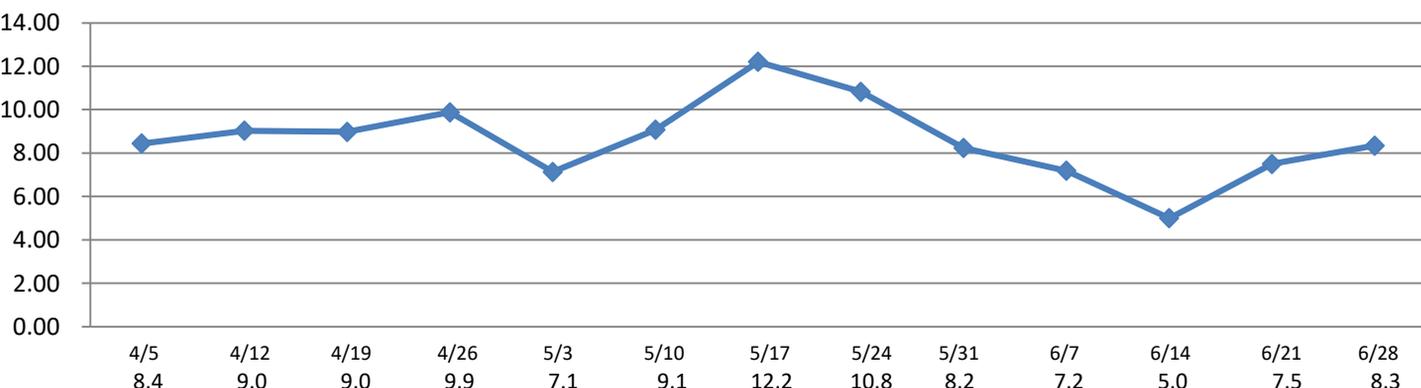
平成30年度「エコキング夏」
7つのエコ活動実施率
—全小学校計—



黒川清流公園の水路での湧水量測定結果 2018年4月～6月

カワセミハウスでは2017年4月から毎週木曜日の朝、黒川清流公園あずまや池出口の水路で湧水量測定を実施しています。水路幅、水深、流速を測定し、これらのデータをもとに1秒当たりの流量を算出します。また水温や電気伝導率も測定、湧水量に大きな影響を与える降水量についても、前回測定日から今回測定日前日までの7日間の八王子地区降水量（mm）を参考にしています。

<4月～6月の流量>



4月から6月の1月毎の平均流量、月間推定流量、月間降水量は下表の通りです。

測定月	4月	5月	6月
平均流量 (l/秒)	9.1	9.5	7.0
月間推定流量 (t)	23,535	25,418	18,170
月間降水量 (mm)	64	90	228



■2018年4月～7月前半の活動報告

6月2日(土) 市民参加のまちづくり勉強会第1回「環境基本計画をめぐって」開催

15:00～17:00 環境分科会主催で開催、参加者は28名(市民21名、市職員7名)。法政大学エコデザイン研究センターの長野浩子氏を講師に迎え、日野市の環境活動と市民参加の過去・現在を振り返りながら未来の活動のあり方について考えました。市民や市職員それぞれの立場から市民参加のまちづくりについての意見を聞くよい機会となりました。

6月3日(日) みんなの環境セミナー「駅のツバメ」開催

9:30～12:00 日野の自然を守る会の金子凱彦氏を講師に迎え、豊田駅周辺で巣作りをしているツバメの観察を通して街で暮らすツバメの生態を探りました。参加者は20名、子育て場所をめぐるツバメのバトルや駅前の店舗にかけられた巣のヒナたちが観察できました。参加者からは「ツバメを通して街がわかるというのは面白い視点」「豊田駅にこんなにツバメがいて感動」「日野市のアピールに駅のツバメが活用できるといい」などといった声が聞かれました。



ツバメの巣を見る参加者

6月30日(土) 「オオブタクサ引き抜き大会」開催

10:00～12:00 30℃を超える炎天下、「オオブタクサ引き抜き大会」を実施しました。カワセミハウス協議会メンバーと市民有志、子どもたちなど31名が参加し、緑湧会のメンバーの指導のもとカワセミハウス裏側の土手を中心に繁茂している特定外来種オオブタクサを引き抜きました。参加者の感想は「暑かったけれど気持ちよい汗をかいた」「参加した皆さんのパワーにびっくり」、また子どもたちからも「楽しかった」といった感想が寄せられました。

7月5日(木) みんなの環境セミナー「黒川清流公園の夏を探そう！」(市民環境大学公開講座)開催

10:00～12:00 薄曇りの黒川清流公園で湧水や雑木林の草花などを観察し、豊富な湧水の成り立ちや雑木林の大切さを楽しみました。講師は東京農工大学名誉教授小倉紀雄氏とカワセミハウスのスタッフ、参加者は市民環境大学の受講生19名、応募者16名の計35名でした。参加した皆さんは黒川清流公園で植物の特徴や名前の由来などの解説を受け、初夏の公園散策を楽しみました。

2018年7月後半～9月の行事・イベント予定

7月18日(水) 市民参加のまちづくり勉強会第2回「市民参加と協働のあり方」

テーマはまちづくりに向けた市民参加と協働のあり方です。講師は法政大学エコデザイン研究センター長野浩子氏です。

7月24日(火)～31日(火) カワセミハウス写真展「日野の昆虫たち」

日野の丘陵地や河川敷に生息する昆虫たちの生態を、日野の自然を守る会の森川正昭氏が撮影した写真で紹介いたします。会場はカワセミハウスです。

7月28日(土) みんなの環境セミナー「黒川清流公園で昆虫採集をしよう！」

黒川清流公園で昆虫採集をして日野の昆虫たちについて学びます。講師は日野の自然を守る会の森川正昭氏です。

8月26日(日) 浅川ネイチャースタディ

浅川でフライフィッシングを体験、水生昆虫の観察もします。環境分科会主催、実施はFFATOKYO(フライ・フィッシャーズ・アグリ東京)です。8月1日発行の広報「ひの」でお知らせします。

9月9日(日) 市民参加のまちづくり勉強会第3回「(仮) 地域をつなぐ住民参加の公園づくり」

まちづくり勉強会の第3回目です。講師はNPOフュージョン長池会長の富永一夫氏、公園・農地・マンション緑地をつないでグリーンセーフティネットを創る取組みなどについて学びます。8月15日発行の広報「ひの」でお知らせします。



昨年の賑わい

8月12日(日) に第3回「浅川アユまつり」が開催されます!

今年も「浅川アユまつり」が8月12日(日) 9:30～14:30、浅川ふれあい橋周辺にて開催されます。アユの塩焼きの試食、ピストン釣りや魚のつかみ捕り(ともに事前申込み)など人気コーナーはもちろん、ガサガサ体験(当日申込み)も行ないます。そのほかターザンロープなどのイベントやグルメコーナーなど楽しさ満載です。皆さんお誘いあわせの上、ふるってご参加ください! 入場無料です!
※申込み方法など詳細は市のホームページをご覧ください。

《カワセミハウス施設概要》

開館時間: 9:00～21:30

休館日: 毎週月曜日、年末年始(月曜日が祝日の場合はその翌日)

情報発信ラウンジ: 環境・地域のコミュニティの場や、散策時の休憩所としてご利用できるフリースペース

オープンキッチン: IHクッキングヒーターやオープンレンジを常備

集会室: 会議等で利用できる集会室3室(各室約30名収容)

可動式パーティションを取り払い大きな部屋として使用可能
その他、授乳室、芝生広場もあります。

カワセミハウスは地域のコミュニティの場として集会室や情報発信ラウンジ等をご活用いただくことができます。

申請方法: 使用日の属する月の3か月前の1日(各月最初の開館日)から使用当日までにハウス窓口に使用申請書を提出

*電話での仮予約も可能ですが仮予約後7日以内に窓口申請が必要で

使用料: 集会室1・2・3とも

午前(09:00～12:00) 300円

午後(13:00～17:00) 400円

夜間(18:00～21:30) 350円

全日(09:00～21:30) 1,050円

*集会室は1室ごとの料金です。

*環境市民団体や自治会等は使用料が減免になる場合があります。詳しくはお問い合わせください。

*集会室以外は無料で利用できます。

発行 日野市立カワセミハウス

〒191-0052 東京都日野市東豊田3-26-1

Tel/fax: 042-581-1164

Eメール: kawasemihouse@jcom.zaq.ne.jp